

2022 (令和4) 年度当初予算の概要

款 教育・スポーツ費
項 スポーツ費

(単位：千円)

目	管理事業名	2022 (R4) 当初予算額	2021 (R3) 当初予算額	主な増減理由	参考資料
	主な事業				
スポーツ振興費		3,479,333	1,630,289		
スポーツ総務事業		974,823	766,521	定数増による人件費の増によるもの	
スポーツ振興事業		147,848	340,013		
スポーツ推進計画策定費		4,060	5,254		
あいちスポーツコミッション事業費		87,204	98,504	東京2020オリパラ関連事業の終了によるもの	○
マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知開催費負担金		55,000	55,000		○
東京2020オリンピック聖火リレー愛知県実行委員会負担金		—	133,090	事業終了	
スポーツ競技事業		358,535	332,388		
あいちトップアスリート発掘・育成・強化事業費		100,387	101,804		
国民体育大会派遣費		80,352	79,353	開催地の異動 (夏季：R3三重県→R4栃木県) によるもの	
総合型地域スポーツクラブ推進事業費		10,838	1,328	国の実証事業の新設によるもの	
全国障害者スポーツ大会派遣費		37,910	33,695	開催地の異動 (R3三重県→R4栃木県) によるもの	○
障害者スポーツ推進事業費		22,155	14,571	イベント開催費の新設等によるもの	
競技力向上対策事業費補助金		32,797	32,797		
第20回アジア競技大会推進事業		1,998,127	191,367		
推進事務費		25,229	18,662	地域活性化ビジョンの推進に係る経費の増によるもの	○
アジア競技大会愛知・名古屋合同準備会負担金		121,270	97,335	広報・PR事業に係る経費の増によるもの	○
愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会負担金		994,510	75,370	選手村の整備に係る経費の増によるもの	○
選手村後利用基盤整備事業費負担金		826,650	—	新規	○
市町村施設改修事業費補助金		25,468	—	新規	○
スポーツ施設費		2,033,686	2,189,060		
スポーツ施設管理運営事業		1,364,588	981,394		
スポーツ施設整備費		1,096,728	664,653	長寿命化改修工事に係る経費の増によるもの	
新体育館整備推進事業		669,098	1,207,666	既存施設撤去工事に係る費用の減によるもの	○
計		5,513,019	3,819,349		

スポーツ大会を活かした地域振興を推進します

予算額 142,204千円

スポーツ局スポーツ振興課
企画・広報グループ
内線 2580・2581
(ダイヤル)052-954-6247

全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげます。

1 あいちスポーツコミッション事業費 87,204千円

地域の関係者と連携したスポーツ大会の招致・育成活動など

[あいちスポーツコミッション構成団体]

県、市町村、スポーツ関連団体、経済団体、観光関連団体、マスメディア、スポーツ大会に関心のある企業・NPOなど

[主な活動内容]

○スポーツ大会に関する情報収集・発信

大会情報の収集・提供や、ウェブサイト・SNS等を活用した大会情報の発信

○スポーツ大会の招致・育成

「F I A世界ラリー選手権ラリージャパン」※や「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」、「新城ラリー」の開催支援など

○スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

スポーツ大会の盛り上げを通じた地域の魅力発信等による地域活性化の促進

※F I A世界ラリー選手権ラリージャパン

国際自動車連盟(F I A)が1973年に創設したラリーの最高峰に位置する世界選手権の1戦。2022年は世界で13戦開催され、最終戦を11月に愛知・岐阜で開催。ラリージャパン2022大会は2010年に北海道で開催されて以来、12年ぶりの開催となる。

日程：2022年11月10日(木)～13日(日)

場所：愛知県・岐阜県の関係自治体の一般公道・林道・農道

〔関係自治体：岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、中津川市、恵那市〕

サービスパーク：豊田スタジアム

2 マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知開催費負担金 55,000千円

世界最大の女子マラソン「名古屋ウィメンズマラソン」や、女子車いすマラソン「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン」などの開催費に対する負担

愛知から障害者スポーツを盛り上げます

予算額 22,155千円

スポーツ局競技・施設課
障害者スポーツグループ
内線 3972・2287
(ダイヤル)052-954-7472

愛知から障害者スポーツを盛り上げ、スポーツを活かした共生社会をリードしていくため、有識者や関係団体等の意見を踏まえた取組を進めます。

障害者スポーツ推進事業費

【土台づくり】

- あいち障害者スポーツ連絡協議会の開催
県、パラアスリート、スポーツ団体、経済団体、医療関係者等による連携体制を構築

【普及啓発】

- ポータルサイトの運営
スポーツ大会やイベントの情報、スポーツ施設のバリアフリー情報などを広く発信・共有

【交流促進】

- 地域で障害者も参加できるスポーツプログラムの実施
総合型地域スポーツクラブを活用して健常者と障害者の交流を促進
- 障害者スポーツ交流イベントの実施（新規）
誰もがスポーツを通じて交流を深められるイベントを開催

【機会創出】

- 地域や医療機関でのスポーツ体験機会の創出（新規）
ボッチャ等の競技用具を総合型地域スポーツクラブやリハビリ施設等へ貸出

【人材育成】

- スポーツ指導者への障害者スポーツ勉強会・体験会の実施
地域における障害者スポーツ推進のキーパーソンを育成
- あいちパラスポーツサポーターの育成（新規）
障害者スポーツを理解し応援するサポーターを育成し認定
- 若手指導者の確保（新規）
障害者スポーツ指導員の資格を取得予定の学生を対象に事例発表会や指導体験会等を実施
- 指導者のリ・スタート支援（新規）
活動を再開しようとする障害者スポーツ指導員を対象に学びなおしの場としてセミナー等を実施

アジア競技大会の開催に向けた取組を進めるとともに、 アジアパラ競技大会の開催に向けた協議を行います

スポーツ局アジア競技大会推進課
調整グループ
内線 2855・2854
(ダイヤルイン)052-954-6845

予算額 1,999,711千円
(外に債務負担行為 1,085,450千円)

2026年に愛知・名古屋で開催される「第20回アジア競技大会」の開催に向けた取組を進めるとともに、「アジアパラ競技大会」の開催決定に向けてアジアパラリンピック委員会（APC）と協議を行います。

1 第20回アジア競技大会推進費

1,998,127千円
(外に債務負担行為 1,085,450千円)

○愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会負担金

994,510千円

大会運営に関する諸計画（競技、輸送・宿泊等）の作成、選手村の整備に向けた基本設計など

○アジア競技大会愛知・名古屋合同準備会負担金

121,270千円

杭州アジア競技大会閉会式大会旗引継式（フラッグハンドオーバーセレモニー）における次回開催都市「愛知・名古屋」の魅力発信など

○推進事務費

25,229千円

大会を活用した地域の活性化の推進など

○選手村後利用基盤整備事業費負担金（新規）

826,650千円

(外に債務負担行為 1,085,450千円)

名古屋競馬場跡地で実施する造成工事など

○アジア競技大会市町村施設改修事業費補助金（新規）

25,468千円

市町村が所有する競技施設の改修事業費の一部を補助

○アジア競技大会基金利子収益積立金（新規）

5,000千円

2021年度2月補正予算においてアジア競技大会基金を創設し、100億円を積立

2 第5回アジアパラ競技大会開催調査費 1,584千円

開催都市契約の締結に向けたAPCとの協議

P F I 手法による新体育館の整備を推進します

予算額 669,098千円

スポーツ局 競技・施設課
 新体育館室調整グループ
 内線 3980・3953
 (ダイヤルイン)052-954-6819

設計・建設から維持管理・運営を一体として実施する「BTコンセッション方式」により、民間のノウハウを最大限活用しながら、2025年夏のオープンを目指し、新体育館の整備を進めます。

【事業内容】

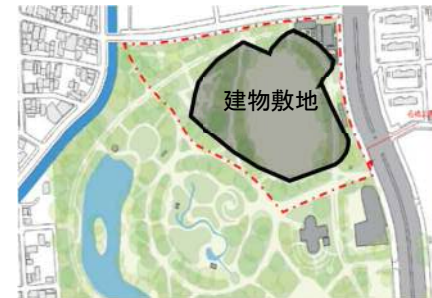
- P F I 事業者による新体育館の設計・建設
- 事業計画地内にある既存施設の取壊し
- 建物本体の敷地における埋蔵文化財の発掘調査
- P F I 事業の財務面・法務面・技術面のモニタリング 等

【スケジュール】

	2021年度	2022年度	2023～ 2024年度	2025年度	2026年度
新体育館	特定事業 契約締結 ● → 設計	本体工事 着手 ● → 建設		開業 開業 準備 (夏) ● → 維持管理・運営 (30年)	第20回 アジア競技大会
既存施設		施設の取壊し ● →			
埋蔵文化財		試掘調査 発掘調査 ● → ● →			

<新体育館の概要>

- ・ P F I 事業者 株式会社愛知国際アリーナ
- ・ 建築面積 26,700 m²
- ・ 延床面積 61,700 m²
- ・ 階層 地上5階
- ・ 最高高さ 41.0m
- ・ 最大収容人数 17,000人 (立見含む)
- ・ 事業計画地 名城公園北園の一部 (約46,000 m²)



【外観】隈 研吾氏のデザインによる樹形アリーナ

